

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2022 ▶ 2023

Rotary



鳥取北ロータリークラブ

● 会長……千金 周一 ● 副会長……入江 容子 ● 幹事……寺本 光孝
● 会計……霜村 哲男 ● SAA……田中 和夫 ● 広報・プログラム委員長……水野 治郎



イマジン
ロータリー

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

国際ロータリーのテーマ

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp <http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/>

本日の例会
2023年1月31日(火) 四つのテスト 第2970回
◆ 季節の歌 たき火 ◆ 卓話
◆ 献立 米山ミール 「更生保護とは」
◆ 委員会事項 鳥取保護観察所
入会記念日御祝 所長 小竹小百合 氏
※ 例会終了後、役員会「例会場」

次週の例会
2023年2月7日(火) 四つのテスト 第2971回
◆ 君が代・奉仕の理想 ◆ 卓話
◆ 献立 里山事業報告 森下泰年さん
100万ドルミール 会員卓話 田中英剛さん
◆ 委員会事項 ※ 例会終了後、定例理事会「例会場」
誕生日御祝

先週の例会

2023年1月24日(火)

会長挨拶

先週、職業奉仕賞表彰を無事に終える事が出来ました。職業奉仕の精神をロータリークラブの外に広めていく為の良い事業であったと思います。

私が特に良かったと思ったのは、今回の授賞式を迎えるにあたっての理事会の対応でした。例年の継続事業という事もあり、大した審議も行われずに進んでしまいがちな事業ですが、本年度の理事会は一味違っていました。この事業の意義は何なのか、広報するならどの部分に広報する価値がありそれを誰がどのようにマスコミに伝えるのか、また式の進行はどうすればスマートで見栄えがするのかなど多くの事が話し合われました。単に事業を消化するのではなく、事業の意義を最大限活かせる工夫が話し合われました。それを受けて担当の田村委員長も会長である私も再度勉強し直しながら今回の事業に向かう事が出来ました。理事会のメンバー全員で作らあげた事業であったように思います。

理事会といえば、先週より次年度の理事会が

スタートし、担当委員長も発表になりました。入江年度の方針等は会長予定者研修であるPETを終えて以降になると思いますが、次年度が始まるまでに本年度の委員会の皆様に向けて再度お願いがあります。委員会の引き継ぎに関する準備を始めて頂きたいと思います。タイムスケジュールや事務的な事柄はもちろんですが、広報を意識した明確な事業目的であったり、実績であったりをまとめておいて頂きたいと思います。CLPによる新しい委員会体制になった1年目ですので、本年度がスタートの年だという意識を持って頂き、委員会の意義、ルール、事業の歴史、事業の変化などをまとめておいて頂きたいと思います。その為のIDM等も積極的に行って頂けたらと思います。

他人に分かるように伝える事、世間に共感してもらえるよう広報する事など、ロータリーの外側を意識する事で見えてくる事も多いのではないのでしょうか。

以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

1 到着文書

・ 廣田ガバナー補佐 (倉吉東RC) より
第1グループ・第2グループ合同IM開催について

2023年4月9日(日) 倉吉未来中心 大ホール
13:00 ~ 15:50

倉吉シティホテル 懇親会 16:30 ~
2 例会変更・メーカー情報

・ 倉吉中央ロータリークラブ
1月25日(水) 休会 *ビジター受付なし
・ 倉吉東ロータリークラブ
1月26日(木) 家族新年例会(夜間)は中止⇒
昼例会 *ビジター受付なし

3 その他連絡事項

- ・ 2月18日（土）高知北RC来鳥決定
- ・ 来週よりスクール形式から円卓へ変更

委員会事項

◎出席率報告

1月24日 会員48名中 出席35名（zoom2名）72.92%

*スマイル報告

（本日7,000円 累計 297,800円 前回 290,800円）

千金周一さん 高知北クラブが鳥取に来る事が決まりました。2月18日の夜間例会、皆で盛り上げましょう。

入江容子さん 今年一番の寒気が日本列島に入ってきました。皆様、お体ご自愛ください。

寺本光孝さん 寒くなり雪も降ってきました。今週出張やめました。皆様、体調を崩さないように。

宮崎正彦さん 先週は、結婚祝いをいただき誠にありがとうございました。新妻は初婚なので各方面からお祝いをいただいておりますが、私はロータリークラブが唯一であります。前期高齢者のことをヤングシニアと呼ぶそうですから、若いつもりで何事も頑張ります。

森本美明さん 本日は卓話です。この機会を頂きまして、私の人生を振り返る良い機会となりました。ありがとうございます。

※2大御祝（本日2,000円 累計76,000円 前回74,000円）
道上正規さん 入会記念日（12月）

卓話

「感動!感激!感謝!私の人生」

仕事への取り組み方

森本美明さん

私の仕事は土地を買収し造成・宅地分譲を行います。不動産業を40年近くやっていて、ほとんどが建築家さんや農家の方との付き合いで、農地を仕入れる仕事をしています。多くの農地を取りまとめが出来る人はそう何人もいません。特殊な直感・能力が要ります。（それはどうしてかな）と思うのですが、一つは自分のプライドを傷つけられるような態度・言葉を多く言われるからです。



一つの住宅団地を仕上げるのには2～3年を要します。それ故、各住宅地には私にとってひとつひとつの物語があります。（あの時にはあの人に

最後まで振り回されたなあ）（相続問題が大変だったなあ）と、その住宅地を通るたびにいろんな思いが浮かんできます。数々の失敗経験や様々な苦勞が今の私並びに会社の礎となっています。

私の会社が沢山の土地を確保出来ますのは、人に頼らず、私が直接農家の方と交渉し、何回も足を運び、良し悪しの判断を決めているからです。まだ話だけの段階ならいいのですが、手付金などを払っていけば、もう止められない訳ですから本当に真剣勝負です。この世の中で難しい仕事のひとつだと思っています。やはり自分の中では苦勞して仕入れ、形が出来上がって売っていく、この過程が難しいほど喜びを感じます。

私が仕事をしていく上で心掛けていますのは、会社の状態が良い時に次の仕事に取り掛かる、例えば、やっと土地買収を終え造成工事を行っている、ホッとして気持ちの良い時ではありますが、そこで気を抜いてはいけません。完成するまでに半年以上の時間があります。その間に次の仕事、土地買収に掛かります。これは仕事柄、次の用地確保を行う際、手間と時間を要する為、余裕のある時に仕込んで置きます。仕事がなくなると焦って高い物を買う羽目になります。人から「いっぱい仕事しているのだから、相当お金を残してるんだらう？」などと言われますが、そんな事はありません。「お金はありませんが土地はあります。」と答えます。仕事上、土地が大好きなんです。私にとって土地は夢の出発点なのです。

会長職となった今、私の一日は夜明けとともに部屋のカーテンを開け、大好きな音楽、スムーズジャズを流すことから始まります。さて、今日はどんな景色が私を楽しませてくれるのだろうか。

他、下記の話がありました。

- ・ 中ノ郷グランデ（失敗談）
- ・ オーストラリア・ゴールドコースト（夢への第一歩）
- ・ 東京
- ・ 湖山池（終の棲家）
- ・ 矢沢永吉（生き方）

（担当 森本美明）